

令和4年4月21日

各位

(公財) 船橋市文化・スポーツ公社
理事長 山崎 健二
(公印省略)

「20歳のソウル展」開催について(依頼)

陽春の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当公社の事業運営に御理解御協力を賜り御礼申し上げます。

さて、船橋市民ギャラリーでは、船橋市立船橋高等学校吹奏楽部卒業生の青春物語、映画「20歳のソウル」が来る5月27日に公開されることから、これを記念して標記展覧会を開催することになりました。

感動の物語のスチール写真やオフショット写真をはじめ、市立船橋高等学校吹奏楽部の活動の足跡、主人公のモデルとなった浅野大義さん愛用の品、映画撮影で使用した品などを展示し、映画の世界をより深く感じていただける展覧会となるよう準備を進めているところです。

つきましては、趣旨を御理解いただき、一人でも多くの方が御観覧くださいますよう、皆様への周知につきまして御協力のほどお願い申し上げます。

記

1 送付物

「20歳のソウル展」 ポスター及びちらし

2 展覧会会期

令和4年5月24日(火)～6月5日(日)

午前10時～午後6時

3 会場

船橋市民ギャラリー

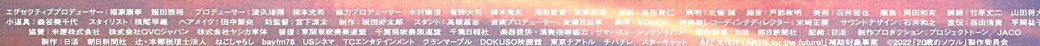
船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21ビル3階

(お問い合わせ)

船橋市民ギャラリー

電話 047-420-2111

20歳のソウル



5.27 FRI
ROADSHOW

今届けたい、音楽が育んだ感動の青春物語——。



INTRODUCTION

千葉県船橋市立船橋高校の応援曲「市船soul」。甲子園出場をかけた球児たちの背中を押すチャンセマとして代々受け継がれています。作曲したのは当時吹奏楽部3年生だった浅野大義さん。音楽仲間を愛し、家族と恋人を想い、夢に心躍らせた青年の命は、がんのため、たった20年という短さで幕を閉じました。告別式には吹奏楽部の仲間164人が集まり「市船soul」を演奏。呼びかけたのは大義さんの恩師である顧問の高橋健一先生でした。

「大義の魂に、演奏を聞いてもらおう」この奇跡の実話を5年に渡り取材した原作を元に、関係者の多大な協力で脚本が完成。実在の市船で現役吹奏生が出演するというリアリティ溢れる映画化が実現しました。大義さんを演じるのは今、最注目の神尾楓珠。高橋健一先生役に佐藤浩市。母親役に尾野真千子と、珠玉のキャスト陣が脇を固めます。短い清々しく生涯を生きた大義さんの姿は、命ある一日の大切さを教えてくれます。これは、希望の物語です。



STORY

浅野大義（神尾楓珠）は市立船橋高校吹奏楽部に所属する男の子。担当はトロンボーン。活発で優しく、そして真つぐな大義は、いつも周囲を明るく照らし、そして大義自身も部員たちに支えられ、青春を謳歌していた。なにより特別な存在である顧問・高橋健一先生（佐藤浩市）に大きな影響を受け、心身共に成長していった。大義は、市船・野球部のために、オリジナル応援曲の作曲に挑戦。作曲の難しさに喜ばしながらも高橋先生からの叱咤激励や親友・佐伯斗真（佐野野哉

（Aぇ！ group 関西ジャニーズJr.）の助け、母・桂子（尾野真千子）の応援もあり「市船soul」が誕生する。そして、いざ試合で演奏されるとたちまち得点を呼ぶ「神応援曲」と呼ばれる様になる。高校を卒業した大義は、高橋先生の様な教師を志し音楽大学へ進学、夢に向かってキャンパスライフを過ごしていた。そんなある日、大義の身体を異変が襲う。診察の結果、大義の身体は癌に侵されていた——。

SONG



「Jasmine」Kenta Dedachi（EPICレコードジャパン）
作詞：Kenta Dedachi 作曲：浅野大義 / KOSEN / Kenta Dedachi

BOOKS

「20歳のソウル」（幻冬舎文庫）
「20歳のソウル 奇跡の告別式、一日だけのプラスバンド」（小学館 刊）
中井由梨子 著

ここだけの

20歳のソウル展

映画との二重奏

入場無料

5.24 TUE ~ 6.5 SUN
船橋市民ギャラリー

午前10時～
午後6時まで
TEL:047-420-2111
船橋市本町 2-1-1
船橋スクエア21ビル3階



詳細はこちら